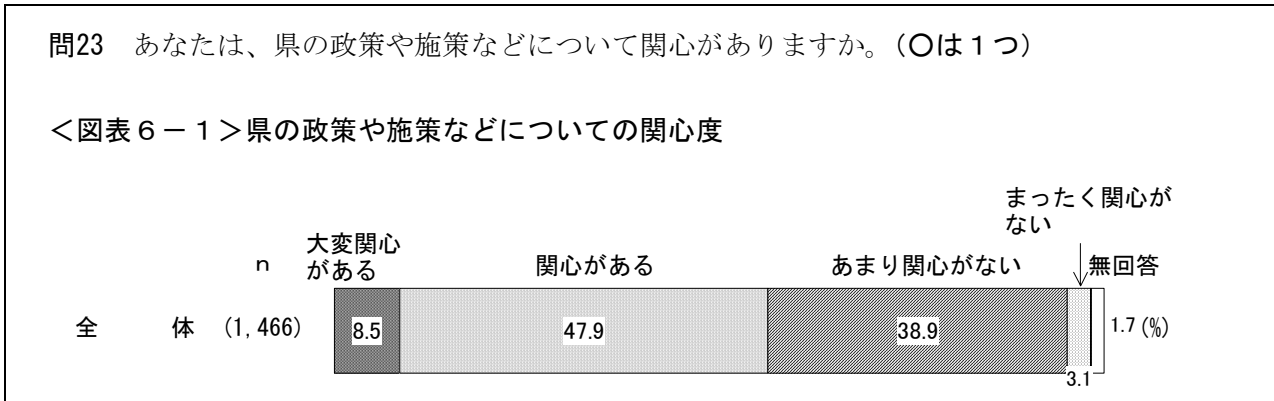


6 広報・広聴活動について

(1) 県の政策や施策などについての関心度

◇『関心がある』が5割台半ば



県の政策や施策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」が8.5%で、「関心がある」(47.9%)が約5割である。これらを合わせると、『関心がある』(56.4%)は5割台半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」が38.9%と「まったく関心がない」の3.1%を合わせた『関心がない』(42.0%)も4割を超えている。(図表6-1)

[参考] 平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『関心がある』	『関心がない』
平成18年度調査	1,467	59.8	37.9
今回調査	1,466	56.4	42.0

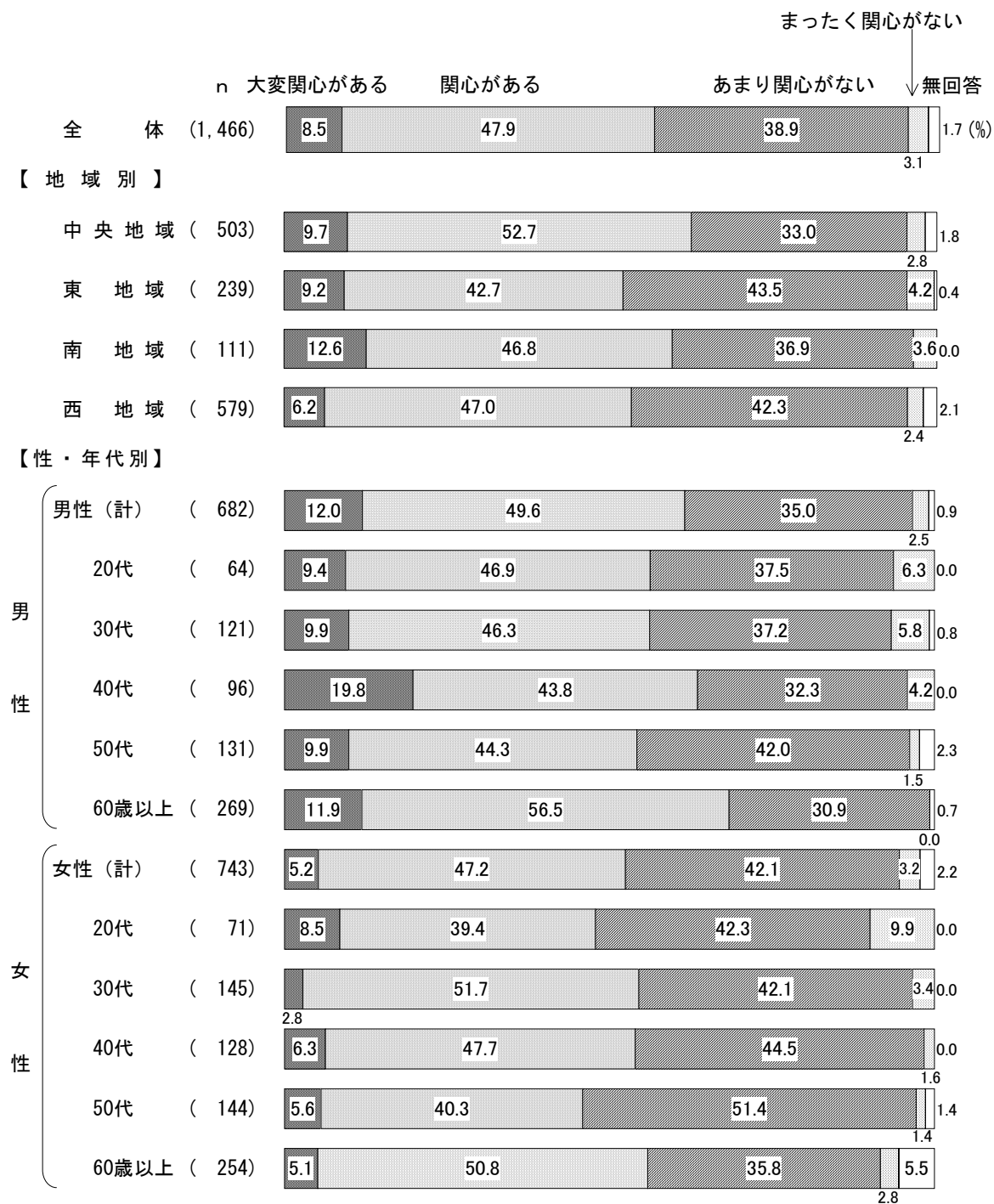
【地域別】

『関心がある』は、“中央地域”(62.4%)、“南地域”(59.4%)が約6割と他地域より高く、“東地域”(51.9%)が最も低い。(図表6-2)

【性・年代別】

『関心がある』は男女ともに60歳以上で高く、特に、男性(68.4%)では約7割である。逆に女性の20代、50代では低くなっており5割を下回る。(図表6-2)

<図表6-2> 県の政策や施策などについての関心度／地域別、性・年代別

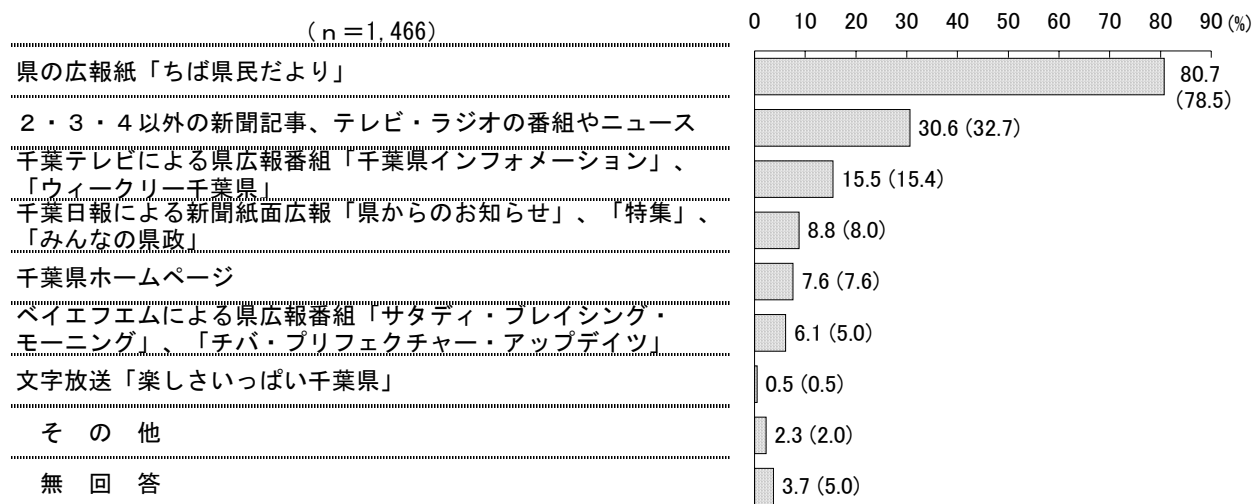


(2) 県政に関する情報を得る手段

◇「県の広報紙『ちば県民だより』」が8割

問24 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(〇はいくつでも)

<図表6-3> 県政に関する情報を得る手段(複数回答)



注) () の数字は平成18年度の同様の項目による調査結果 n=1,467

県政に関する情報を得る手段をいくつでも選んでもらったところ、「県の広報紙『ちば県民だより』」(80.7%)が8割と最も多かった。次いで、「2・3・4以外の新聞・番組以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(30.6%)が3割、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(15.5%)が1割台半ばとなっている。(図表6-3)

(※「2・3・4以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、2・3・4とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」、「みんなの県政」』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデート」』を指す)

【地域別】

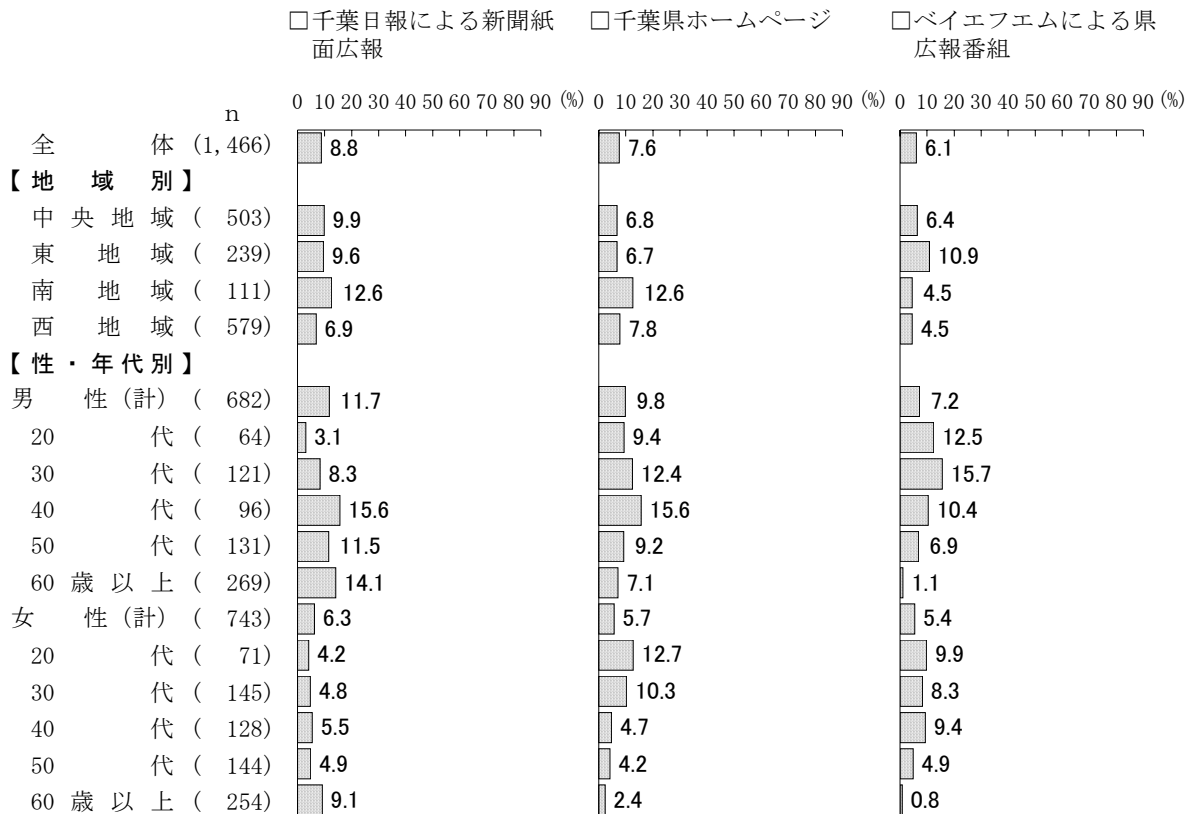
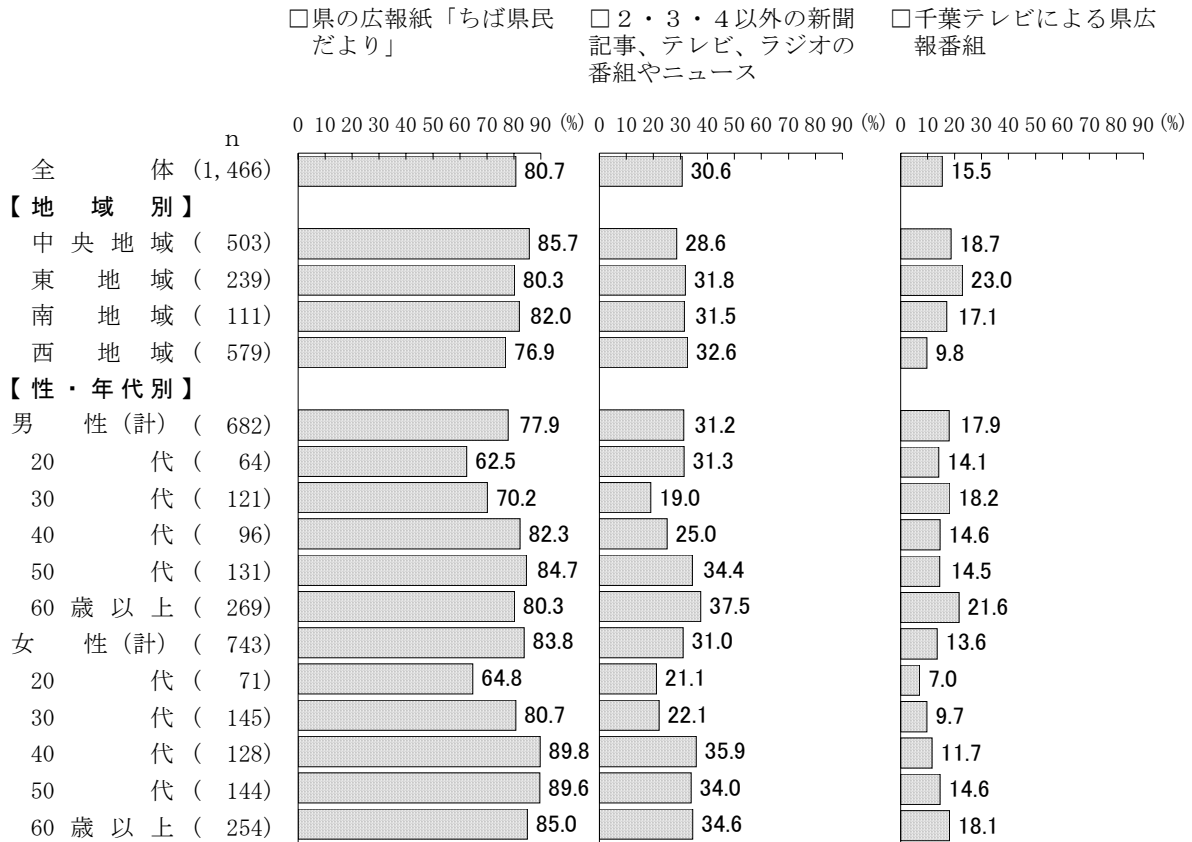
「県の広報紙『ちば県民だより』」は“西地域”(76.9%)を除き8割台で、「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は、“中央地域”(28.6%)を除き3割台となっている。

(図表6-4)

【性・年代別】

「県の広報紙『ちば県民だより』」は男女ともに30歳以上は7割を超えているが、20代で6割台となっている。「2・3・4以外の新聞記事、テレビ、ラジオの番組やニュース」は、男性の30代、40代、女性の20代、30代以外が3割を超え高い。「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」は、男性の60歳以上が2割を超え他の年代より高い。(図表6-4)

<図表6-4> 県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位6項目）

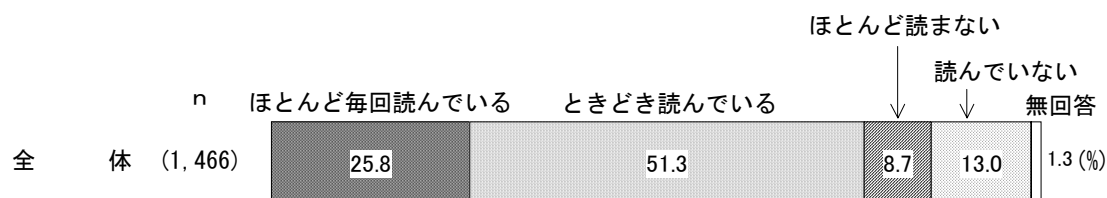


(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる』が約8割

問25 県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。(○は1つ)

<図表6-5> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(25.8%)は2割台半ばで、「ときどき読んでいる」(51.3%)が5割を超え最も多い。これらを合わせた『読んでいる』(77.1%)は約8割となっている。一方、「ほとんど読まない」(8.7%)と「読んでいない」(13.0%)を合わせた『読んでいない』(21.7%)は2割を超える。(図表6-5)

[参考] 平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	ほとんど毎回 読んでいる	ときどき読ん でいる	ほとんど読ま ない	読んでいない
平成18年度調査	1,467	24.3	52.4	8.5	13.2
今回調査	1,466	25.8	51.3	8.7	13.0

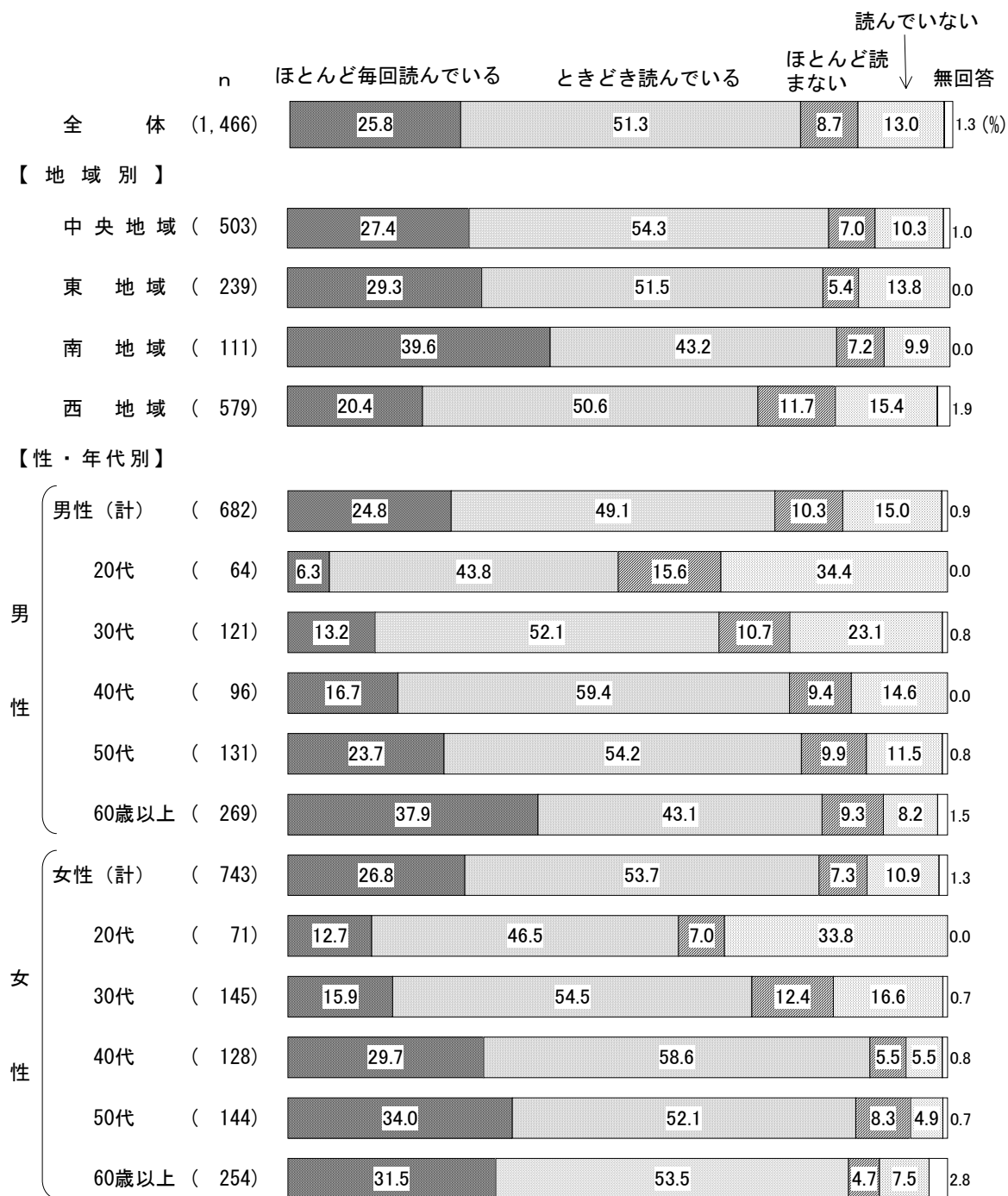
【地域別】

『読んでいる』は、“南地域”(82.8%)、“中央地域”(81.7%)、“東地域”(80.8%)で8割以上と高く、“西地域”(71.0%)は7割台となっている。なお、「ほとんど毎回読んでいる」は、“南地域”(39.6%)が約4割で最も高い。(図表6-6)

【性・年代別】

男女とも、年代が上がるほど『読んでいる』が増える傾向にある。『読んでいない』は男女とも20代(男性50.0%、女性40.8%)が最も高くなっている。(図表6-6)

<図表6-6> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



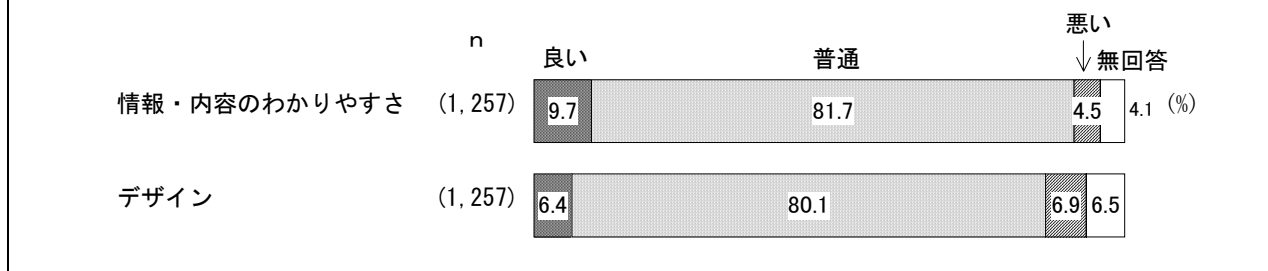
(3-1) 「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさ、デザインの良さとともに「良い」は1割未満

(問25で「1 ほとんど毎回読んでいる」「2 ときどき読んでいる」「3 ほとんど読まない」のいずれかをお答えの方に)

問25-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(○はそれぞれ1つずつ)

<図表6-7> 「ちば県民だより」の内容について



問25で「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「ほとんど読まない」と回答した1,257人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、情報・内容のわかりやすさは、「良い」(9.7%)が約1割、「普通」(81.7%)が8割を超えている。

デザインの良さは、「良い」が6.4%で、「普通」(80.1%)が8割となっている。(図表6-7)

[参考] 平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体		良い	普通	悪い
平成18年度調査	1,250	情報・内容のわかりやすさ	12.8	80.7	5.0
今回調査	1,257		9.7	81.7	4.5
平成18年度調査	1,250	デザイン	9.1	77.7	8.2
今回調査	1,257		6.4	80.1	6.9

【地域別】

情報・内容のわかりやすさは、「良い」が“南地域”(14.0%)で他地域よりやや高く、“中央地域”(8.5%)が最も低くなっている。

デザインの良さについては、「良い」が“南地域”(11.0%)で他地域より高く、“中央地域”(4.9%)が最も低かった。(図表6-8)

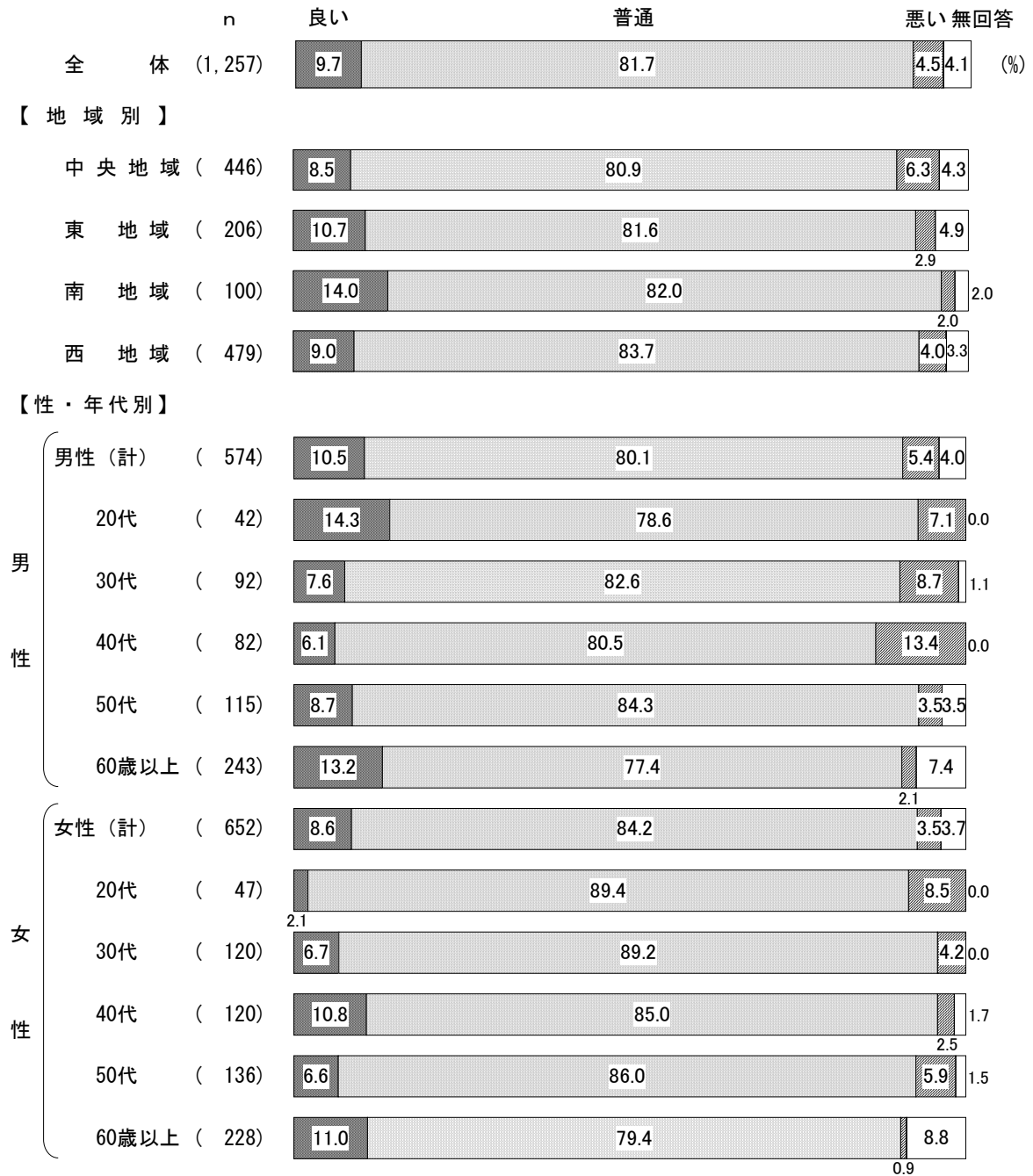
【性・年代別】

情報・内容のわかりやすさが「良い」は、男性20代(14.3%)が最も高く、次いで、男性の60歳以上(13.2%)となっている。

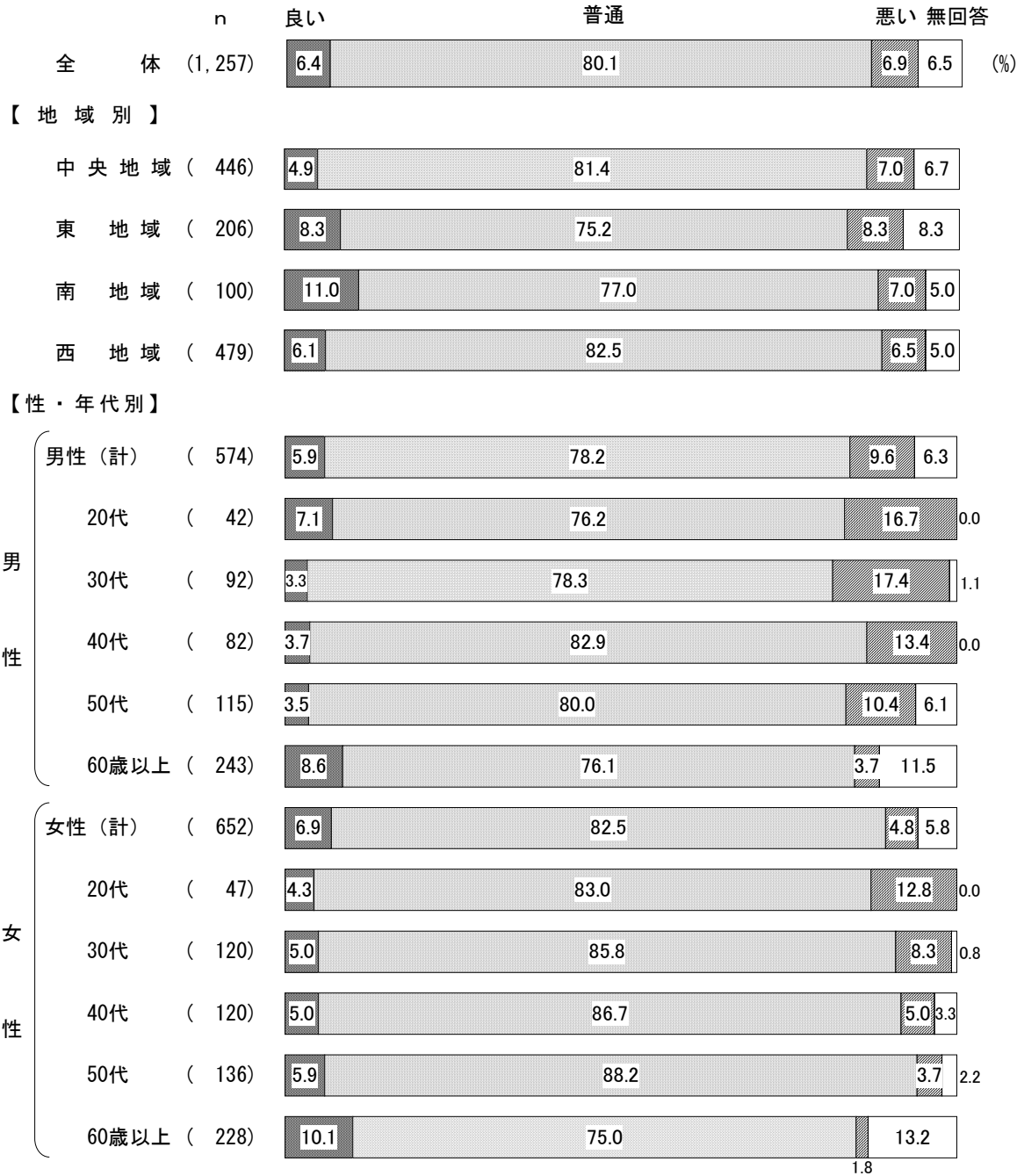
デザインの良さが「良い」は、女性の60歳以上(10.1%)が1割あるものの、他の年代は1割未満で、特に男性の20代(3.3%)が低い。逆に、「悪い」は、男性の20代(16.7%)、30代(17.4%)で1割台半ばを超えている。(図表6-8)

<図表6-8> 「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

《情報・内容のわかりやすさ》



《デザインの良さ》

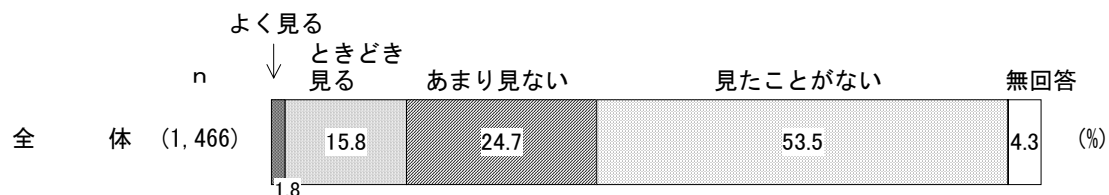


(4) 県の広報番組の視聴状況

◇『見る』は約2割。「見たことがない」が5割台半ば

問26 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(〇は1つ)

<図表6-9> 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(1.8%)と「ときどき見る」(15.8%)を合わせた『見る』(17.6%)は約2割である。一方、「あまり見ない」(24.7%)が2割台半ばで、「見たことがない」(53.5%)は5割台半ばと最も多い。(図表6-9)

[参考] 平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	よく見る	ときどき見る	あまり見ない	見たことが ない
平成18年度調査	1,467	1.0	18.0	27.1	52.4
今回調査	1,466	1.8	15.8	24.7	53.5

【地域別】

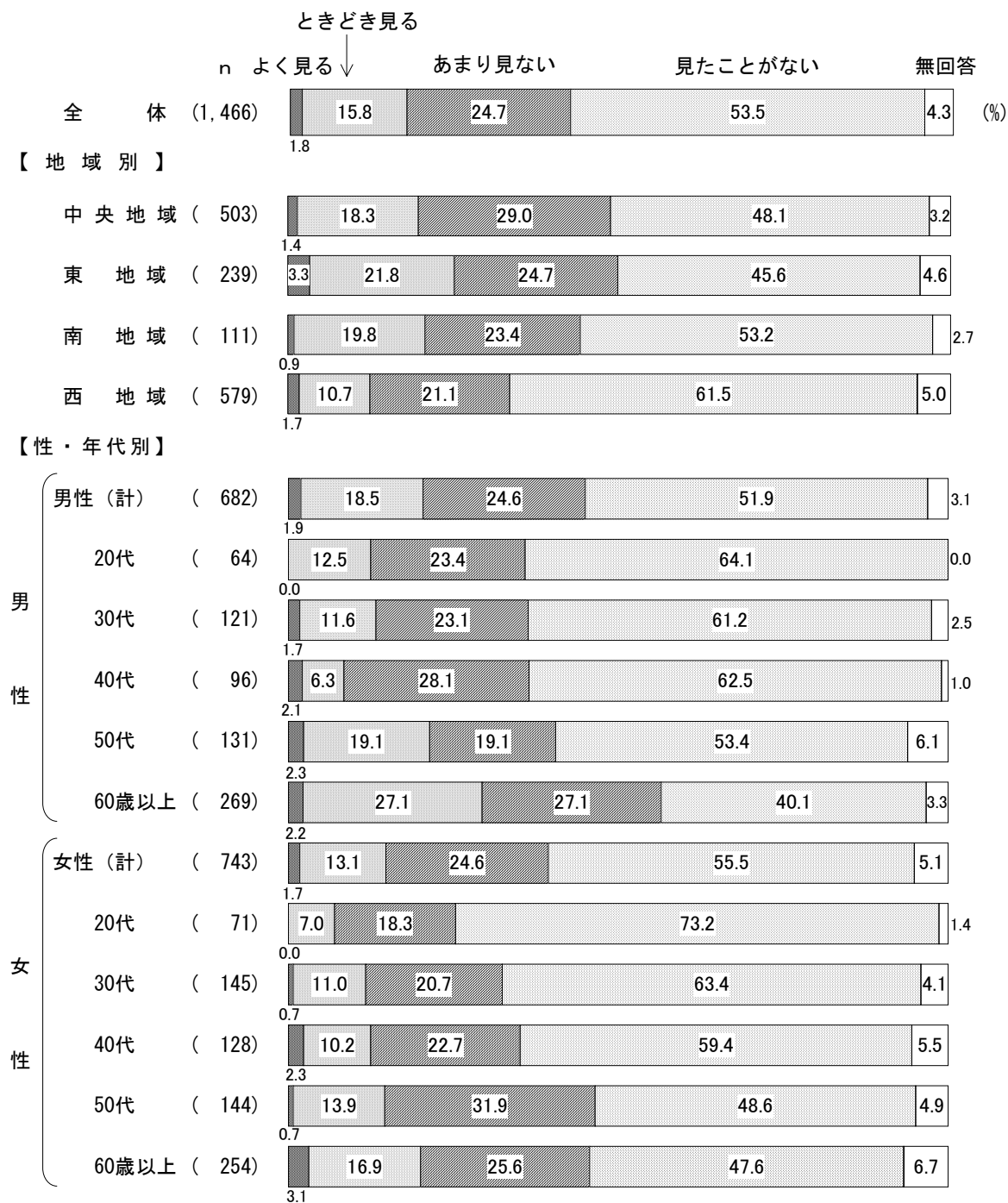
最も『見る』地域は“東地域”(25.1%)で、最も「見たことがない」地域は“西地域”(61.5%)となっている。(図表6-10)

【性・年代別】

男性の50歳以上と女性の60歳以上(20.0%)で、『見る』が2割以上となっている。なお、男女とも年代が上がるほど『見る』が高くなる傾向にある。「見たことがない」は、男性の20代(64.1%)と30代(61.2%)と40代(62.5%)、女性の20代(73.2%)と30代(63.4%)で6割を超えている。

(図表6-10)

<図表6-10> 県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

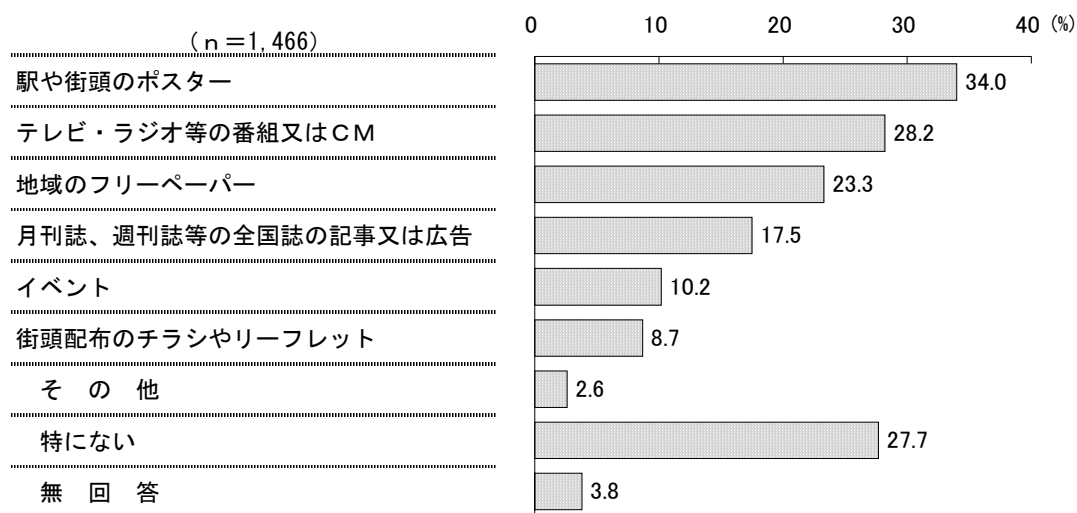


(5) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

◇「駅や街頭のポスター」が3割台半ば

問27 あなたは、県の広報紙や広報番組（問24の選択肢「1」～「4」及び「6」「7」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（○はいくつでも）

<図表6-11> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況をいくつでも選んでもらったところ、「駅や街頭のポスター」（34.0%）が3割台半ばで最も多かった。次いで、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」（28.2%）、「地域のフリーペーパー」（23.3%）となっている。（図表6-11）

（※問24の選択肢「1」～「4」及び「6」「7」に掲げるものとは、『1 県の広報紙「ちば県民だより」』、『2 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」、「みんなの県政」』、『3 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」』、『4 ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」、「チバ・ブリフェクチャー・アップデート」』、『6 文字放送「楽しさいっぱい千葉県」』、『7 千葉県ホームページ』を指す）

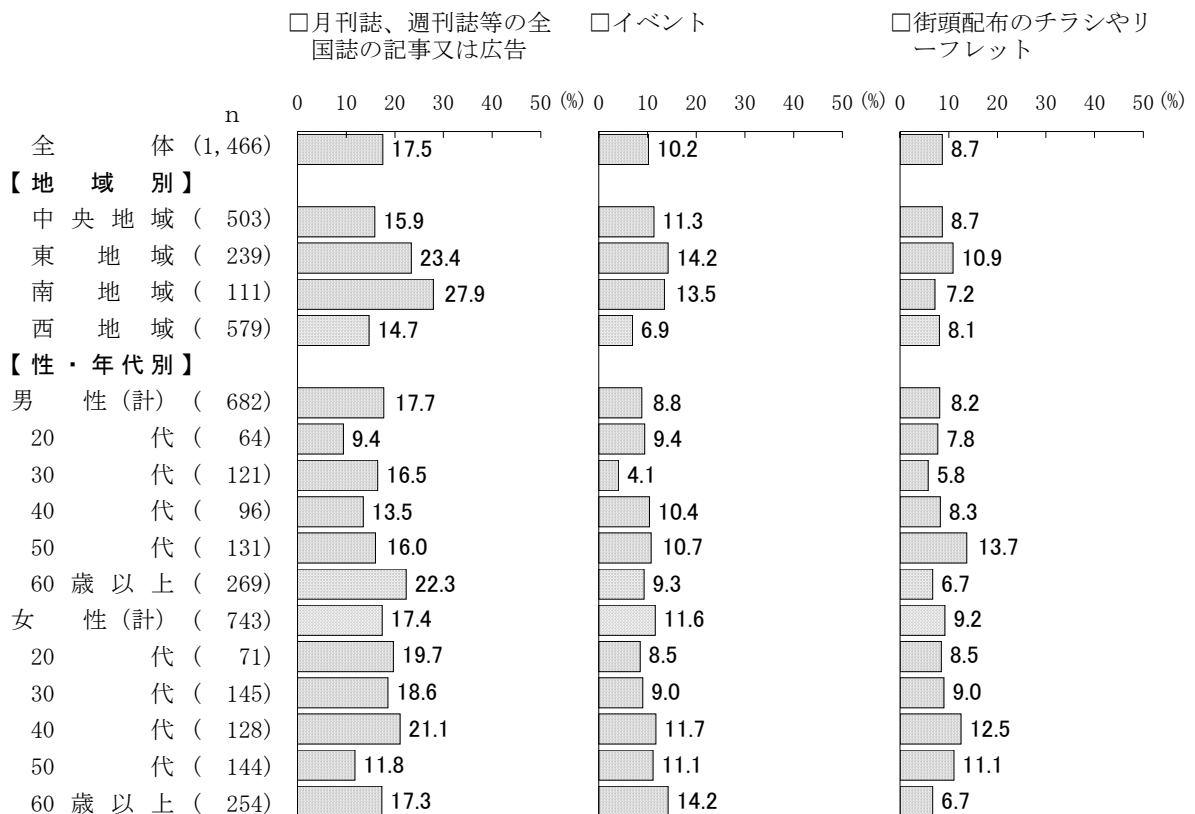
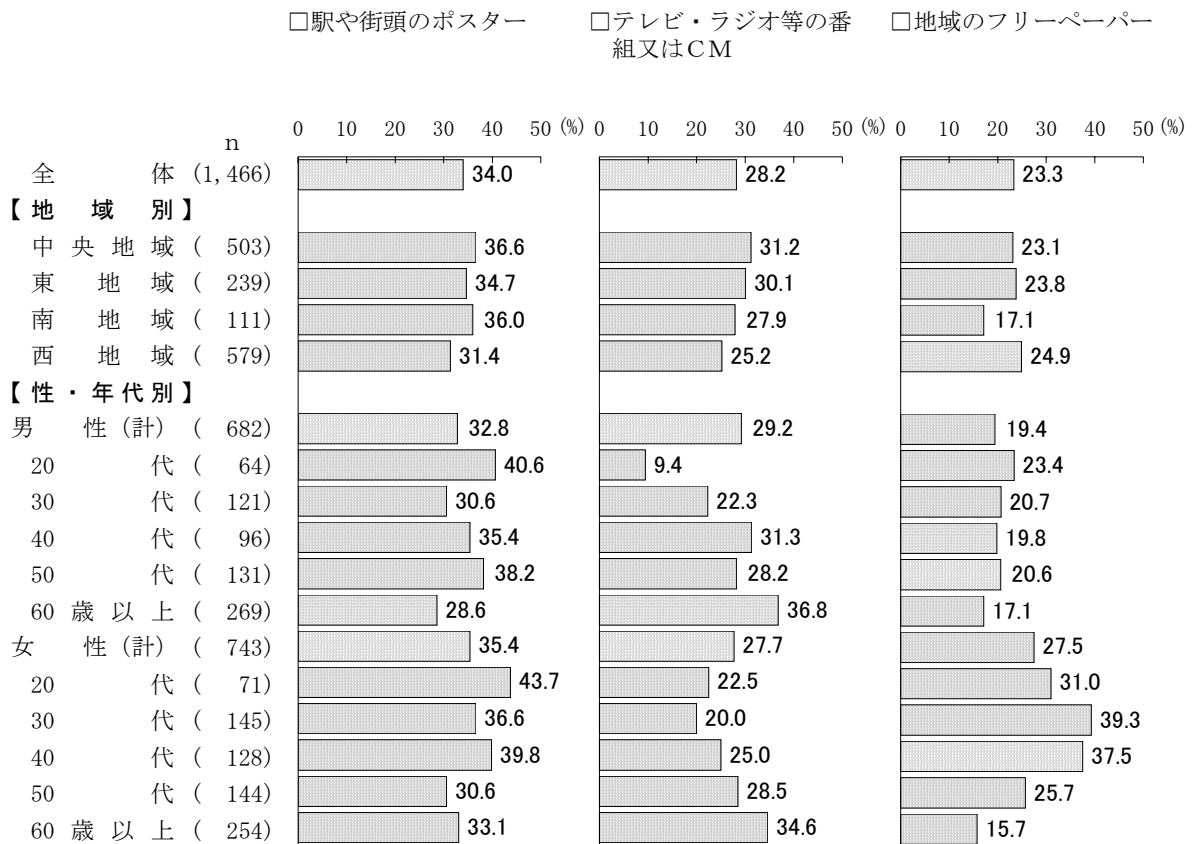
【地域別】

「駅や街頭のポスター」は“中央地域”（36.6%）が3割台半ばで、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」も、“中央地域”（31.2%）で3割を超え他の地域に比べて高くなっている。（図表6-12）

【性・年代別】

「駅や街頭のポスター」は男性の60歳以上以外は3割を超えている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は、男性の20代（9.4%）以外は2割以上となっている。（図表6-12）

<図表6-12> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況／地域別、性・年代別（上位6項目）

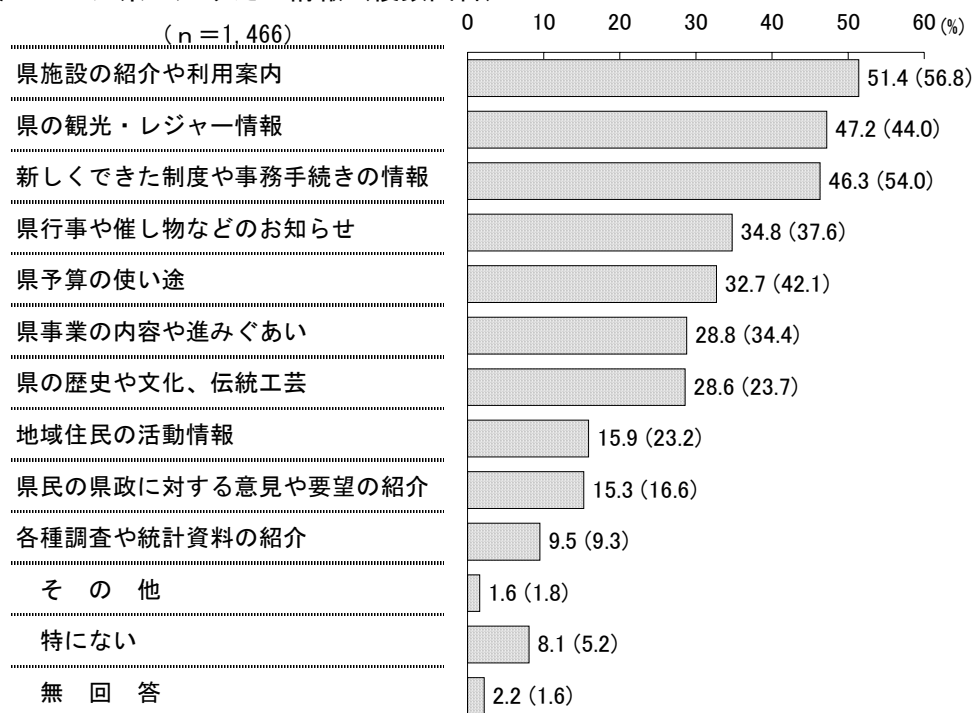


(6) 県の知りたい情報

◇「県施設の紹介や利用案内」が5割を超える

問28 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。(〇はいくつでも)

<図表6-13>県の知りたい情報(複数回答)



注) () の数字は平成18年度の同様の項目による調査結果 n=1467

県について知りたい情報をいくつでも選んでもらったところ、「県施設の紹介や利用案内」(51.4%)が5割を超え高くなっている。次いで、「県の観光・レジャー情報」(47.2%)と「新しくできた制度や事務手続きの情報」(46.3%)が4割台半ばを超え、「県行事や催し物などのお知らせ」(34.8%)、「県予算の使い途」(32.7%)も3割を超えている。(図表6-13)

【地域別】

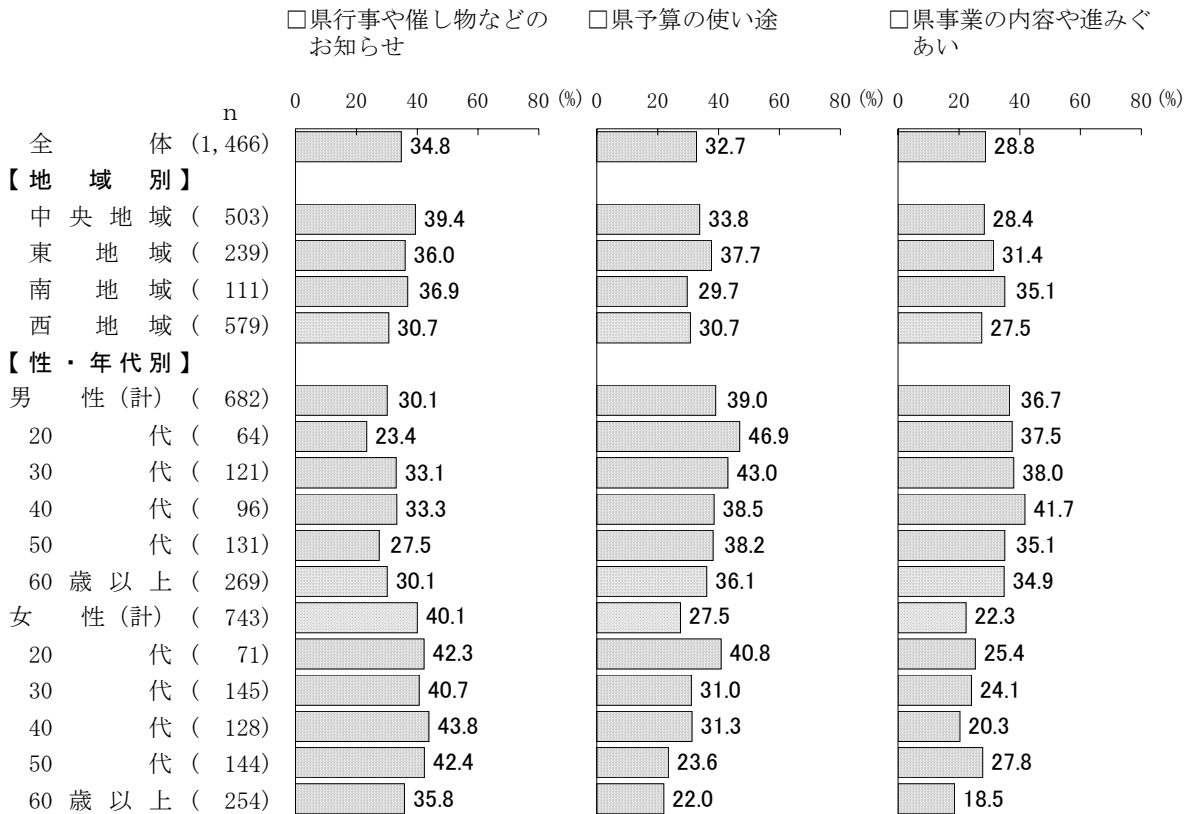
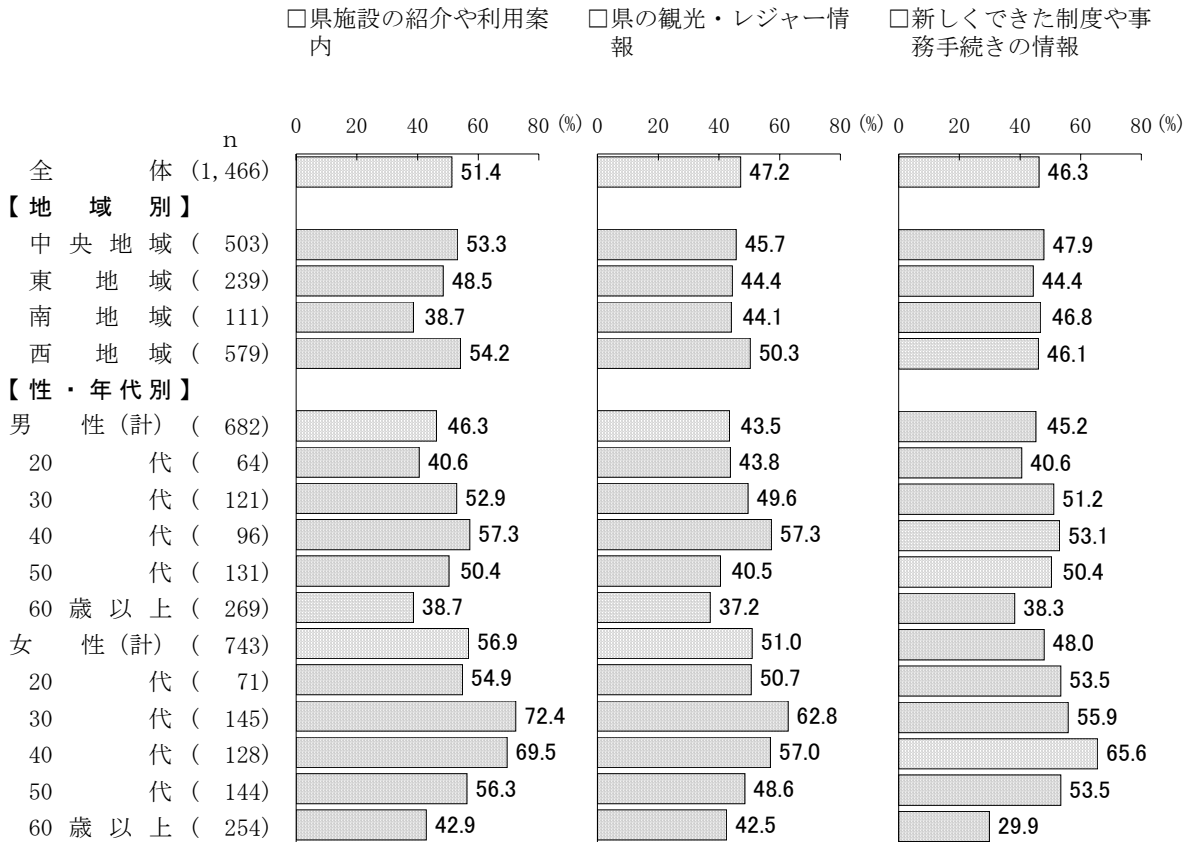
「県施設の紹介や利用案内」は“西地域”(54.2%)が最も高く、“南地域”(38.7%)が最も低くなっている。「県の観光・レジャー情報」は、“西地域”(50.3%)が5割で最も高く他の地域は4割台半ばにとどまる。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は、地域の差は特になし。「県行事や催し物などのお知らせ」は“中央地域”(39.4%)で約4割と高く西地域”(30.7%)が低くなっている。

(図表6-14)

【性・年代別】

「県施設の紹介や利用案内」は、女性の30代(72.4%)が7割を超え高い。「県の観光・レジャー情報」は、女性の30代(62.8%)が6割を超えている。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性の40代(65.6%)で6割台半ばとなっている。「県行事や催し物などのお知らせ」は女性が60歳以上を除き4割を超え、「県予算の使い途」は男性の20代(46.9%)で4割台半ばとなっている。また、「県事業の内容や進みぐあい」は男性の40代(41.7%)が4割を超えている。(図表6-14)

<図表6-14> 県の知りたい情報／地域別、性・年代別（上位6項目）

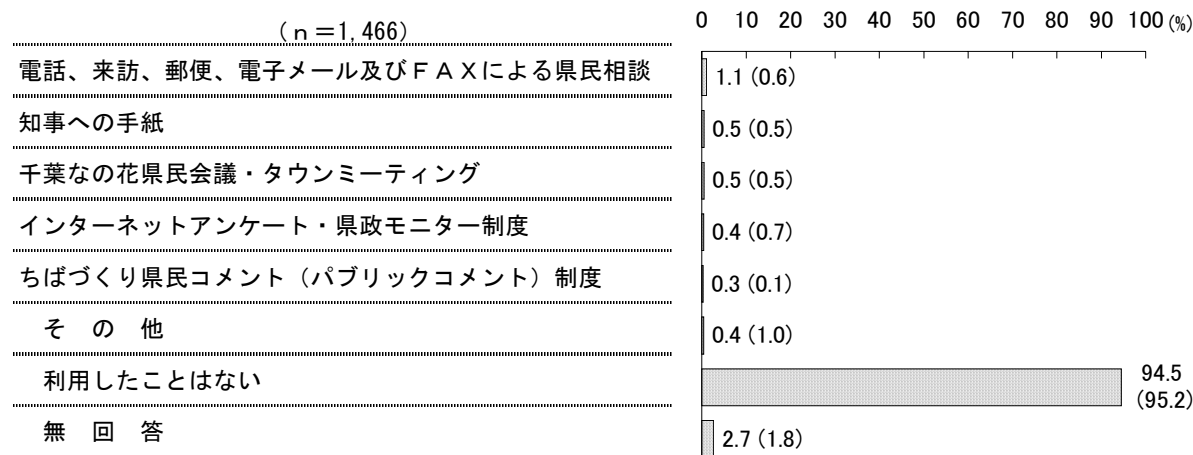


(7) 知事への手紙などで意見を述べた経験

◇「利用したことがない」が9割台半ば

問29 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙などで今までに意見を述べたことがありますか。(〇はいくつでも)

<図表6-15> 知事への手紙などで意見を述べた経験 (複数回答)



注) () の数字は平成18年度の同様の項目による調査結果 n=1467

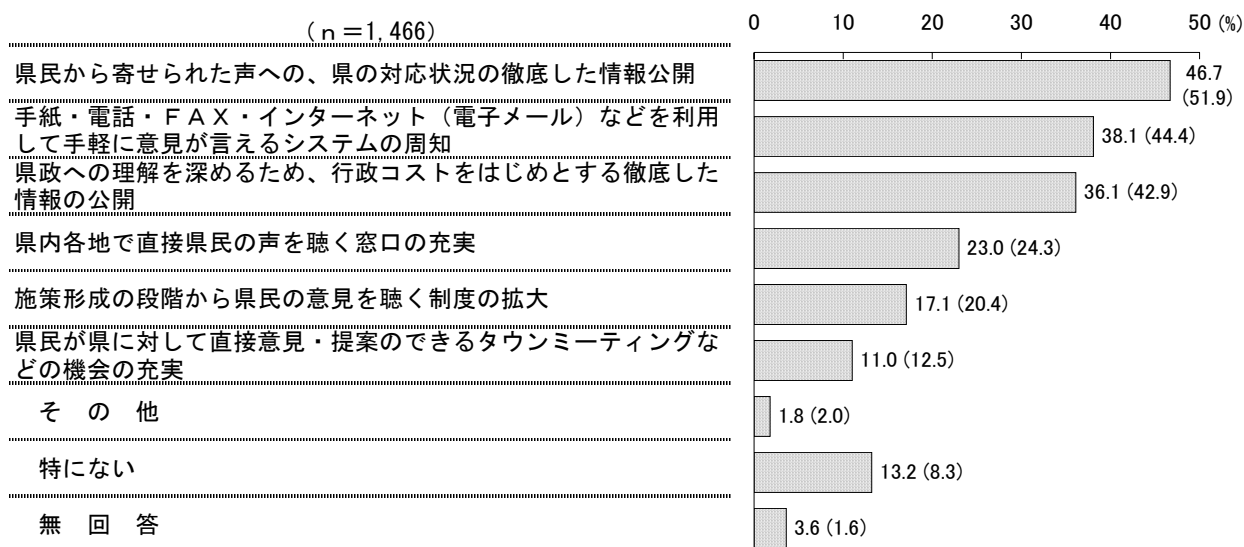
知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」(94.5%)が9割台半ばとなっている。利用したことがあるものでは「電話、来訪、郵便、電子メール及びFAXによる県民相談」が1.1%、「知事への手紙」と「千葉なの花県民会議・タウンミーティング」がそれぞれ0.5%、「インターネットアンケート・県政モニター制度」が0.4%、「ちばづくり県民コメント(パブリックコメント)制度」が0.3%となっている。(図表6-15)

(8) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

◇「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が4割台半ばを超える

問30 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

<図表6-16> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと (複数回答)



注) () の数字は平成18年度の同様の項目による調査結果 n=1467

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(46.7%)が4割台半ばとなっており、これに「手紙・電話・FAX・インターネット(電子メール)などを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(38.1%)と「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(36.1%)が3割台半ばを超え続く。(図表6-16)

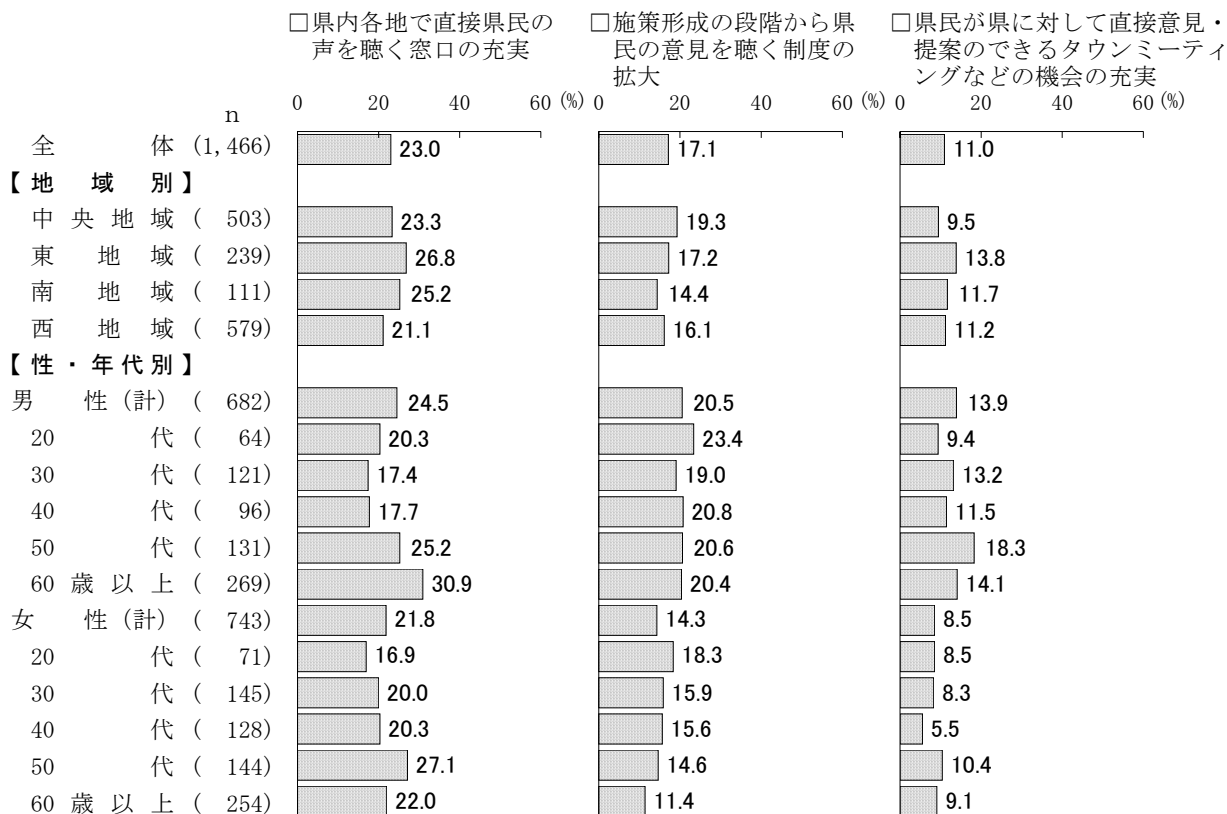
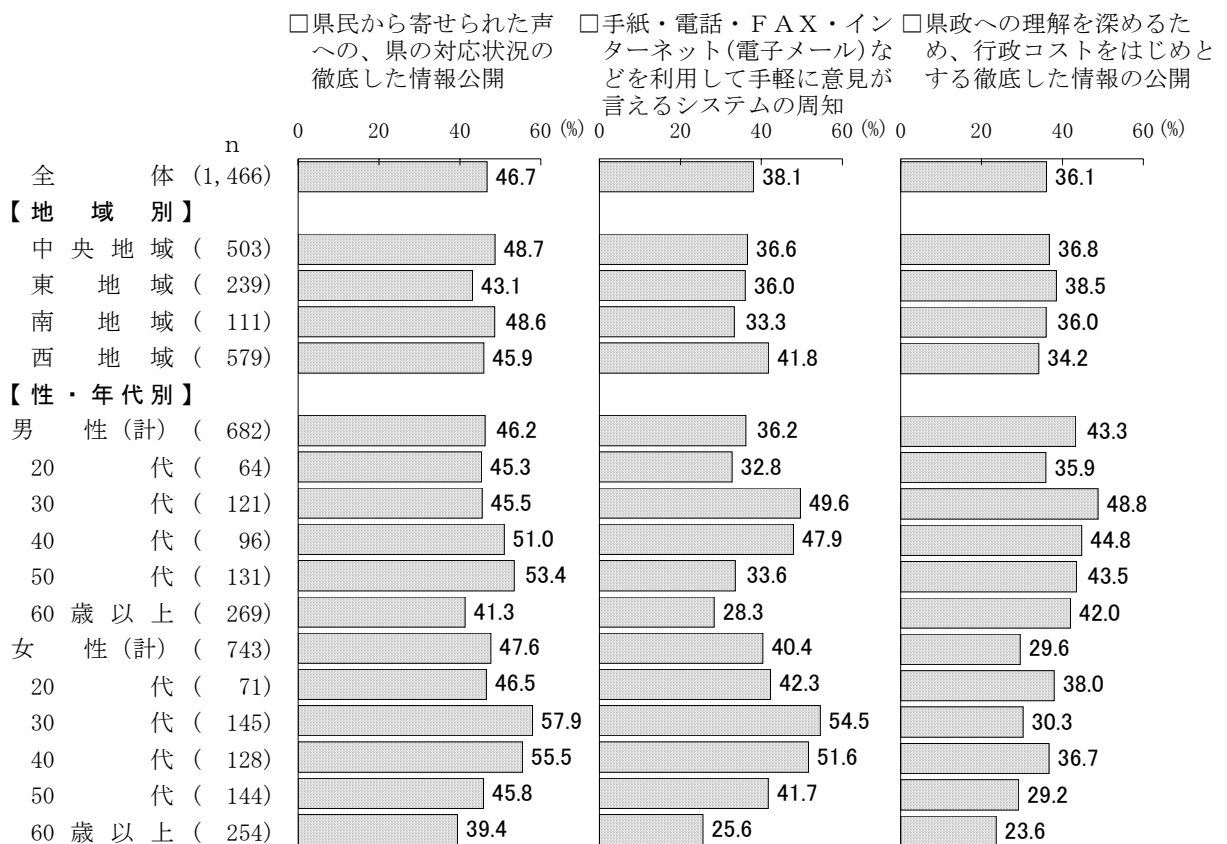
【地域別】

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は、「中央地域」(48.7%)、「南地域」(48.6%)、「西地域」(45.9%)が4割台半ばを超えている。「手紙・電話・FAX・インターネットなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」は、「西地域」(41.8%)が最も高く、「南地域」(33.3%)が最も低くなっている。(図表6-17)

【性・年代別】

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は、女性の30代(57.9%)、40代(55.5%)で5割台半ば以上と高くなっており、女性の30代は「手紙・電話・FAX・インターネットなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」でも54.5%となっている。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」では、男性の30代(48.8%)が約5割と高くなっている。(図表6-17)

<図表6-17> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと／地域別、性・年代別

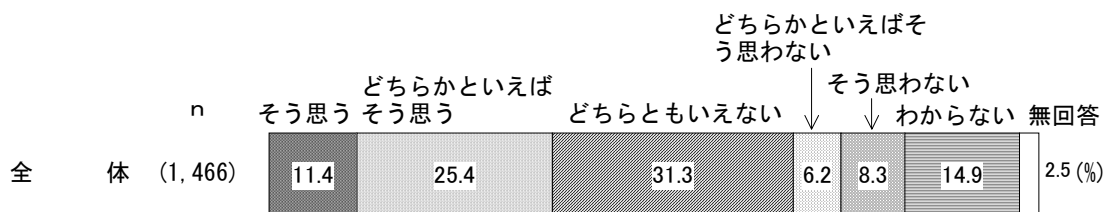


(9) 県政への意見の反映

◇『そう思う』が3割台半ば

問31 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。(○は1つ)

<図表6-18>県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(11.4%)と「どちらかといえばそう思う」(25.4%)を合わせた『そう思う』(36.8%)は3割台半ばとなっている。「そう思わない」(8.3%)と「どちらかといえばそう思わない」(6.2%)を合わせた『そう思わない』(14.5%)は1割台半ばである。(図表6-18)

〔参考〕平成18年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『そう思う』	『そう思わない』
平成18年度調査	1,467	32.1	20.0
今回調査	1,466	36.8	14.5

【地域別】

『そう思う』は“中央地域”(38.9%)が約4割で最も高く、“南地域”(30.6%)が最も低い。『そう思わない』は“東地域”(14.6%)と“西地域”(14.8%)で1割台半ばとなっている。(図表6-19)

【性・年代別】

『そう思う』は男性の20代(48.5%)、女性の20代(46.5%)が4割台半ばを超えている、女性の50代(25.0%)、60歳以上(29.9%)は3割未満である。『そう思わない』は女性の20代(21.2%)が2割を超えている。(図表6-19)

<図表6-19> 県政への意見の反映／地域別、性・年代別

